

「子どもとともに成長するために」 ～大崎保育所保護者会の取組み～

- ◎ はじめに
保護者会では
*「保護者自身の人権意識・感覚を高め、差別を許さない子どもを育てる」
*「差別をなくすなかまとしてのつながりを深める」
ことをめざし、様々な学習会や活動に取り組んでいます。
その内容を紹介します。

人権・部落問題学習

私たちは毎月1回保護者会を開いています。内容は保育所からの提案や学習会です。

学習会は…子育て講座や絵本の読みあい、ふれあい遊びに手芸、そして、1番大切にしている人権・部落問題学習です。

教科書無償化の運動・奨学金制度また、保育所設立についての学習会など講師を招いたり、役員が学習して提案したりと進め方は様々ですが、具体的な差別事件について聞くことで、正しく知ることの大切さを感じています。



▲講師を招いての人権・部落問題学習

保育参画



◀年に2回の保育参画では、計画から参加し子育てに生かしています。

保育参画で毎年目標にしているのが「しょうがい」がある人との交流です。昨年は車椅子で生活されているSさんとの交流の前に、保護者が車いす体験をしました。



このような体験や交流を行いながら「すべての人が住みやすい社会にするために、自分たちに出来ることは何かを考えています。

命の取り組み

子どもたちは色々な活動を通して、命の大切さを学んでいます。その一つとして、保護者が直接話をする機会があり、出産前の保護者は生まれてくる子への思いを、出産後の保護者は赤ちゃんと一緒に来て、生まれてからの思いを、そして、きょうだい児への思いを伝えています。こうした取り組みから、自分は愛されていると感じる子どももいると思っています。



▲メッセージありがとう

また、毎年子どもへのメッセージを書き、先生たちにそれを読んでもらい、思いを伝えてもらっています。

クッキング

普段、子どもたちが食べている給食や簡単に栄養たっぷりの料理など、保護者に作ってみたい料理のアンケートをとって、その中から何品かを給食や栄養士の先生に教えてもらっています。



栄養のバランスを考えたお弁当も作りました。

▲いわしの手びらきに挑戦!!

行事への参画

運動会や生活発表会など保育所の様々な行事にも保護者は参画しています。

～生活発表会～

仕事を持つ保護者にとって忙しい中ではありますが、何度も集まって練習したり、案を出し合ったり、色々な役割を通して、楽しい発表会となっています。この一体感や達成感は、親子・親同士のつながりをより深めています。



▲今年は劇に取組みました。

- ◎ 終わりに
「差別に負けない子どもを育てたい」だからこそ「子どもたちに教育を」との思いから建てられたこの保育所で、これらの活動は設立当初から行われてきました。
保護者からも「卒園してもつながりを持ちたい」「今までは同和研修が自分の中を素通りしていたが、しっかりと考えられるようになった」という声が聞かれます。
これからも、差別の現実深く学び、子どもに関わるすべての人が、豊かにつながっていける取組みを続けていきます。